

ごてんば 市議会だより

Letter From the Municipal Gotemba City Assembly

冬

祝! 第100号記念号

2019年2月6日発行

特集

市民との対談

NPO富士山ごてんばサイクリングプロジェクト×市議会

もくじ

- 特集(市民との対談) 2~3
- 議案の審議結果一覧、本会議の審議状況 ... 4~5
- 一般質問(8人) 6~9
- 傍聴託児所開設に向けて、議会避難訓練実施 .. 10
- 御殿場市議会の議会改革、全員協議会報告 11
- 行政視察報告 12
- 議会報告会 13
- 100号発刊にあたって、議長日記、3月定例会予定、
編集後記 14

視覚に障がいがある方のための、音声による「市議会だより」もあります。
問い合わせ / 図書館 ☎0550-82-0391

NPO富士山ごてんばサイクリングプロジェクト 代表 永井誠一さん

御殿場市議会 Gotemba City Assembly

<http://www.city.gotemba.shizuoka.jp/gikai/>

発行／御殿場市議会

編集／広報委員会 御殿場市萩原483 ☎0550-82-4323 ☎0550-82-4326



YouTube

平成30年12月定例会の
一部を録画中継します。

※インターネットへのアクセスが発生するため、
通信料がかかります。

特集

市民との対談

FGCP NPO 富士山ごてんば サイクリングプロジェクト × 市議会

東京2020オリンピック・パラリンピックで御殿場市・裾野市・小山町が自転車競技の会場になることから、自転車を通じて御殿場を中心に「みくりや」の魅力を発信している「NPO富士山ごてんばサイクリングプロジェクト」(FGCP)の皆さんにお話を伺いました。



御殿場って自転車に接する機会が少ないので、
ちびっ子から大人の方まで楽しめるようなイベントがあつたらいいと思います。

どんな活動をしていますか？

■人と地域を自転車でつなぐことを基本理念に、自転車を通じて御殿場を中心とした「みくりや」地方の魅力を発信しています。御殿場を訪れるサイクリストに対する「おもてなし」や地元コースの整備の推進、御殿場駅発着の富士山周遊「富士一」[※]の推進と情報発信・環境整備を行っています。また、自転車に乗ることでの健康づくりの促進、安全走行の啓発活動や安全教育の活動もしています。

※「富士一」…富士山山麓を周回するコース

メンバーにはどのような人がいますか？

■FGCPの理念に賛同したメンバーで、御殿場市内はもとより、県東部・神奈川などからも参加しています。中学生・高校生から最高齢68歳まで現在63名で、御殿場地方の魅力的なコースを堪能しています。初心者からエキスパートまで広くメンバーを募集中です。

市や議会に伝えたいことは？

■自転車通行帯があるとうれしいですね。「富士一」のコースを路面にペイントして、青は100kmの

中級コース、紫は150kmの上級コースのように、たどって行けばコースがわかる案内があると良いですね。御殿場市だけでなく、周りの市町も巻き込んで！

■個人的に、御殿場界わいの道路は結構好きです。適度にアップダウンもありますし…。[※]獲得標高や走行距離で推奨のサイクリングコースを提唱したらいかがでしょうか？御殿場市のHPからリンクして見られるように。

※獲得標高…主に累積標高差のことを表す。スタートからゴールまでの上った高さの総計。

FGCP

NPO 富士山ごてんば
サイクリングプロジェクト

×

市議会



経済環境委員会議会報告会に参加された皆さん(FGCPの皆さんは前から1列目、2列目)

■可能であれば、五輪の矢羽根マークをコースに入れるのが第1弾ですね。また、R138バイパスの高架下には自転車専用道路を作ってもらい、初心者でも安全に、御殿場駅から富士山に近いところまで登れるようにしてもらうのはどうでしょう。専用道路を作ってもらうことで、自転車の聖地に名乗り出ましょう。キャンプ富士の人にも、どんどん使ってもらい、世界にも広めてもらいましょう！

■僕からしたらやはり「高校または中学に自転車競技部を！」ですね。あとは難しいかもしれませんが、市のスポーツ祭に自転車競技を組むのも盛り上がると思います。

■設備的なことももちろん大事ですが、市民の方の関心や理解を深めることも大切ではないでしょうか？御殿場って平坦な所が少なくて車社会なところがあり自転車そのものに接する機会が少ないので、ちびっ子から大人の方まで楽しめるようなイベントがあつたらいいなと思います。

■この地域に来ていただく具体策として、「レンタサイクル」の整備はとても有効なのではと考えます。御殿場・小山・裾野地域にレンタサイクルの拠点が数か所あり、相互で乗り捨てが可能なら理想でしょう。御殿場での「サイクリングによる楽しい思い出」がインプットされれば、その方にとつてこの地が思い出深い場所となり、再び訪れただけだと思います。

議案の審議結果一覧

平成30年12月定例会

【全会一致で可決等された議案】

（専決処分の承認）

- ・専決処分の承認を求めることについて（御殿場市手数料条例の一部を改正する条例制定について）

（補正予算）

- ・平成30年度御殿場市一般会計補正予算（第3号）について
- ・平成30年度御殿場市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
- ・平成30年度御殿場市救急医療センター特別会計補正予算（第1号）について
- ・平成30年度御殿場市介護保険特別会計補正予算（第1号）について
- ・平成30年度御殿場市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について
- ・平成30年度御殿場市公設浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）について

（条例）

- ・御殿場市いじめ問題再調査委員会設置条例制定について
- ・御殿場市公共下水道事業及び農業集落排水事業の設置等に関する条例制定について
- ・御殿場市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市特別職の職員で常勤のものの給料等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市議会の議員に対する議員報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例制定について

（その他）

- ・御殿場市森林公園の指定管理者の指定について
- ・御殿場市宮駅南駐車場の指定管理者の指定について
- ・御殿場市温泉会館の指定管理者の指定について
- ・御殿場市総合体育施設の指定管理者の指定について
- ・御殿場市馬術・スポーツセンターの指定管理者の指定について
- ・秩父宮記念公園の指定管理者の指定について
- ・御殿場市東山旧岸邸の指定管理者の指定について
- ・市道路線の認定について

（人事）

- ・御殿場市固定資産評価審査委員会委員の選任について

（報告）

- ・専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）………2件

本会議で行われた議案審議の中から、主なものを掲載します。

平成30年度御殿場市一般会計補正予算(第3号)について

問

冷房設備対応臨時特例交付金事業について、小中学校・幼稚園の進捗率は設置目標に対してどの程度となるか。必要な設備を確保できる見通しか。

答

小学校は、設置目標数346室に対して約57%、中学校は、設置目標数207室に対して約38%、幼稚園は、今回の事業において100%となる。

メーカー数社とヒアリングを行ったところ、現段階では6月までに納品することは難しいが、5月までに発注し、2019年度内での設置を考えるのであれば対応できるとの回答を得ている。本事業により、必要な設備の確保は可能であると考ええる。



御殿場市いじめ問題再調査委員会設置条例制定について

問

再調査委員会の設置はどのように判断されるか。また、県内における本条例の設置状況、いじめの実態把握と調査体制は。

答

再調査は、学校や教育委員会または被害にあった児童生徒や、その保護者、関係者などへの調査等が十分に尽くされていないと考えられる場合や調査時に知り得なかった重要な事実が判明した場合などに実施検討される。また、教育委員会が市長に調査報告をする際、被害を受けた児童生徒及び保護者は、報告書に意見書を添えることができ、その記載事項も再調査・実施検討の端緒となる。

県内では、富士市、裾野市など、23市中12市で設置されている。

法律・医療・心理・福祉・教育等に関する専門的な知識と経験を有する5名に再調査委員会委員を委嘱し、教育委員会の第三者機関が行った調査や聞き取りが、被害を受けた側に添ったものであるかを確認、検証し、改めて調査を行う。体制は十分に整っているものと考ええる。

御殿場市公共下水道事業及び農業集落排水事業の設置等に関する条例制定について

問

下水道事業を企業会計方式に変更する背景は。公共性よりも採算性が重視され、使用料の負担増加を加速することにならないか。

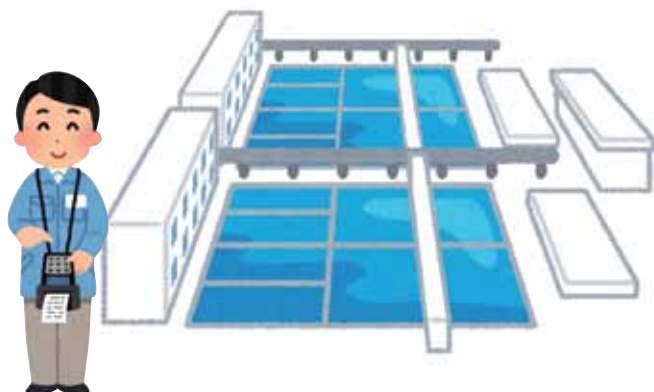
答

総務省通知には、重点事業として地方公営企業法の適用が要請されている。人口減少等による使用料収入の減少や、管路施設の老朽化に伴う更新費用の増大等が見込まれる中、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上のために適用することとした。

下水道事業は生活環境の保全・維持に重要な役割を担っており、これは経営方式を変更しても変わる



ことはない。使用料については、経費節減や事務の効率化を図りつつ、変化していく内外的要因に対して適時適切に審議検討していく。





いざお 議員
勝亦 功 改新



YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

当初予算編成方針示達の背景と行財政改革の取り組みについて

市長は来年度予算規模を例年に比べ縮小し、350億円台を目標に編成作業を指示した。歳入に見合った財政運営と新たな行財政改革へ踏み出すことを期待して質問する。

問 350億円台とする目標への対応について。

答 例年10月からの編成作業を今年度は6月から前倒しし、実効性の高い3か年実施計画や予算編成へとつなげた。

問 厳しい歳入見通しとなった要因は何か。

答 本市は不交付団体のため多くの制約を受けている。市税収入となるべきものが税制改正により国税に振替えられ、普通交付税の替わりである臨時財政対策債の借入れができず、以前借入れた同債の返済のみとなったこと等が主な要因である。

問 正規と臨時職員の総人件費は54億円余で歳入見込額の35%を占める。内訳と見通しは。

答 正規職員は662人、臨時パート等564人(平成29年度)

であり、特に子育て支援事業等の充実には臨時職員が必要のため、経費は制度改正にも伴い増加する。

問 歳入は減少し、経常経費、特に人件費は増加し、歳出の削減は難しい。新たな民営化等の方策を検討すべきと考える。

答 健全財政を継続するため、あらゆる角度から民間活力の手段等検証する。地域の皆様のご意見を聞き、市の方針を明示していく。




かすこ 議員
黒澤佳寿子 市民ネット・なでしこ



YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

御殿場市の地域医療体制の充実に

重要施策の「地域医療体制及び子育て支援の充実」は、市民がいつでも安心して必要な医療サービスを受けることができる医療体制の充実に他ならない。

問 当市の地域医療体制の現状分析について。

答 救急医療センター、二次、三次の救急医療機関、広域医療体制等、医療体制は確立されている。産科・小児科医療機関の脆弱性の解消、市民の受診行動の適切化、かかりつけ医制度の普及等が喫緊の課題である。出産育児の環境、健康づくり、地域医療について総合戦略の目標値に向け、更なる努力を図る。

問 来年度から開始の病院等産科医師確保対策事業について。

答 若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる社会の実現のために民間医療機関に産科医師確保経費を助成する。事業継続は状況を見て判断する。

問 当市の産科医療の充実が遅れた背景について。

答 医師の高齢化や臨床研修医制度による都市部への偏在、高額な雇用経費等が停滞させた。

問 医師、看護師等医療従事者の人材育成の助成について。

答 民間医療機関の努力に頼っていたが、資金的な面も含め育成の助成に更に関わっていく。

問 大規模な病院の市民病院化への見解について。

答 現在の地域医療の考え方では、既存の病院間で連携し、総合病院的な役割を分担することが望ましい。事実上の体制づくりを医師会を通じて進めていく。



答 国は「これまで通り、事実関係を確認し、提供可能な情報は速やかに提供する」と回答。

問 住民、自治体からの問い合わせに対する回答は保障されているのか伺う。

答 国が自らの判断で行ったもの。意見として国に伝える。

問 南関東防衛局HPからオスプレイ情報も削除され、情報公開に逆行している。情報の復活を求めたいが見解を伺う。

オスプレイについて当局は「継続して検証を行っていく」と表明してきたが、国との協議の結果、11月1日から国の職員が配置されなくなり、自治体に提供されてきたオスプレイの運用情報メールもなくなった。月次の訓練等の実績報告となった。

オスプレイ運用情報のあり方について



まさみ
高木理文 議員
無会派(日本共産党)

YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード



12/19 市内の柴怒田地区にて旋回訓練

問 多子世帯への負担額の軽減制度の継続について伺う。

答 来年の無償化開始まで継続する。以降の継続は再判断する。

問 来年からの制度の概要を伺う。

答 幼稚園、保育所、認定こども園を利用する3歳から5歳までのすべての子どもの授業料・保育料を、所得に関係なく一律無償化する。住民税非課税世帯は0歳から2歳の保育料を無償化する。

幼児教育・保育無償化の影響について

問 国による確認体制と情報提供体制の再構築は。

答 現行が最終形ではなく、最良の方法を模索し、最適な方法で国からの情報を得ていく。

賃料の安い市営住宅の供給は大変重要であり、既存住宅の活用は意

市営住宅の現状と空き家対策について

答 その連携は重要であるので、昨年に続き、医療機関に働き掛けをしていく。

問 病児保育の医療機関との連携の進捗状況は。

答 入園申し込み時や子育て相談の折、その周知に努め、その利用率アップを図る。

問 病児保育園における在園児以外の病児保育の受入状況が1割以下の現状に対し、更なる利用率向上の方策は。

働く親にとって、安心して子どもを育てられる環境作りは、最優先課題である。

病児保育の拡充について



きみこ
辻川公子 議員
市民ネット・なでして

YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

義がある。また、「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行され3年が経過している中、早急の対策と運用をただした。

問 本市の空家の特徴として集合住宅の空家が多い。費用が安く済む民間アパートの借り上げ型による民間活力導入は有効な手段であると思うが見解は。

答 空家の活用が今後重要な政策となるので、借り上げ型公営住宅について他市町の事例も含め幅広く調査、検討する。

問 空家の現状と活用支援は。

答 本市の空家率は14.5%であり、管理不全住宅は246戸ある。空家等所有者と利用希望者のマッチングを行う。※空家バンク制度の整備に努める。



古民家を店舗として活用した例

※空家バンク……住民から、空家の登録を募り、希望者へ物件情報を提供する。



認知症施策について

厚生労働省は認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会を実現するために、認知症施策推進総合戦略を策定した。その進捗状況について伺う。

問 認知症のサポーターの増員数は。

答 平成30年度末までの目標数を既に達成している状況である。今年度からは市内の中学一年生を対象に実施し、更なる増員を図る。

問 認知症初期集中支援チームの設置状況は。

答 平成30年4月より1チーム設置した。現在までに4名支援しており、うち2名はチームでの支援を終了した。包括支援センターだけでは対応困難な事例について、

支援チームが対応している状況である。今後は更に多くの方を支援できるように対応力の向上に努める。

問 認知症地域支援推進員の実施状況は。

答 平成27年5月に近隣市町に先駆けて専任の認知症支援推進員を設置した。認知症に関わる相談業務や、地域包括支援センター職員との同行訪問を実施し、地域の支援機関へつなぐ連携支援を行ってきた。また、認知症に関する相談は、今年度上半期で約200件寄せられており、今後も支援員としての活動の増加が予測されることから一層の協力体制を目指す。



観光資源の案内板の整備・多言語化について

日本人、外国人を問わず、訪問先の地理に不案内な観光客が安心して一人歩きできる環境を整えていくことが、観光都市を推進していく上で重要である。

問 当市の観光資源の案内板の状況は。

答 観光十二選、富士見十二景の案内板、富士山眺望遺産の看板等を設置している。

問 観光十二選の案内板設置の考え方は。

答 昭和50年代に観光名所として設置した。その後、御殿場プレミアム・アウトレット、御殿場原時之栖、富士山樹空の森等が整備される中、活用してきた。現在、既存の枠組みにとらわれない新たな観光十二選の選定について検討している。

問 長尾峠は昭和天皇はじめ国賓来訪の地であり、案内板に由緒等を記すことへの見解は。

答 新たな観光案内板に変える際には、歴史や由緒等も記載し、あわせて市のホームページやSNSでの発信も検討する。

問 観光資源の案内板の多言語化の考え方は。

答 来訪者が快適に観光を楽しめるよう、多言語化は急務であると考えている。

問 御殿場駅広場の案内板の多言語化は。

答 富士山口広場は、日本語と英語の観光案内板が設置され、表示のQRコードにより英語以外の多言語に対応したホームページが見られる。箱根乙女口広場は、多言語化にも対応した総合案内表示板を設置する。



富士見十二景・観光十二選(長尾峠)

がん対策について



えみこ
小林恵美子 議員
公明党



YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

がんは日本人の2人に1人がかかる国民病である。国は、準備期間を経て2020年に「がん教育」を教育現場に盛り込むが、当市の取り組みを伺う。また、がん治療の過程で脱毛などの外見（アピランス）の変化の悩みに対応する「アピランスケア」について見解を伺う。

問 「がん教育」に対する認識と対策について伺う。

答 児童生徒が、がんについて関心を持ち、正しく理解し、適切な行動を取るようにすることは大切であり、「がん教育」を推進することは必要である。保健体育科を中心に「道徳」や「総合的な学習の時間」などとも関連を持たせ、自他の健康と命の大切さに気付き、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す姿勢を育成する。2年余りとなった

完全実施までに、文科省の教材や資料を参考にし、指導計画を整える。学校専門医制度を活用し、教職員に対する研修を実施し、がん経験者や医療関係者など外部講師を招いた授業についても指導計画に位置づける。

問 「アピランスケア」に対する認識と「医療用かつら、胸部補正具購入費の助成」について見解を伺う。

答 がん患者の容姿の形状の変化が現われる苦痛度をできるだけ低くすることが必要で、市としてしっかり啓発していきたい。支援については、県や近隣市町による制度を注視しつつ、情報収集するなどし、取り組みについて研究していく。



道路行政について



あきお
杉山章夫 議員
市民21



YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

問 道路行政全般にわたる現状と課題について伺う。

答 普通建設事業費は、2019年度から2028年度まで減額傾向で推移し、維持管理に向けた予算確保が課題である。維持補修・長寿命化への人員配置及び予算配分の移行の必要性が高まる。

問 身近な市道の改良・改修や歩道等の設置要望に対する市の対応及び課題について伺う。

答 緊急修繕の必要なものは、年800件ある。区長に相談、迅速に対応し、市民から高い評価を得ている。課題は限られた予算の中、年間70路線の工事を行っていること、また、同意書があるにも関わらず、用地交渉時に反対されるなど、不測の時間を要することがある。

問 効果的な市道の整備方針と安全対策について伺う。

答 幹線市道整備10年計画に基づき、歩道整備、交差点や横断歩道、側溝の蓋掛け・グリーンベルト・防護柵の設置等歩行者の安全を図っている。

問 観光ハブ都市を目指す当市にとって道路網の構築は欠かせない。道路のインフラ整備について市長の見解を伺う。

答 東京オリンピック・パラリンピック開催の年が当市のターニングポイントとなる。市民・来訪者に配慮した安心・安全な効果的な道路網を形成し、観光ハブ都市として更なる飛躍を遂げていきたいと考える。



御東原循環線(東山地先)道路改修工事

傍聴託児所 開設に向けて

子育て世代にも傍聴しやすい議会をめざして



※乳幼児の傍聴は、議長の許可を受けています

12月4日、本会議傍聴時に乳幼児を預かる託児サービスを試行実施しました。これは子育て世代にも議会を傍聴しやすい環境を整備し、より開かれた市議会を目指すことを目的としています。今回は子育てサークルの4組の親子にご参加いただきました。



参加者:「傍聴してみて子育ての内容などを聞くことができ、議会を身近に感じました。子どもも保育ボランティアさんが見てくれているので、安心して傍聴できました」

今回の試行実施でいただいたご意見を今後の議会傍聴託児サービスに反映し、来年度からの本格実施を目指していきます。

市議会で避難訓練を実施しました



12月19日、市議会12月定例会の終了後、議場にて避難訓練を実施しました。緊急時の行動を確認し、災害に対して平時から意識をもつて取り組んでいます。災害の被害を減らすことで、緊急時の業務継続が向上するものと考えます。

※当日は、録音された緊急地震速報を流し、その後、駐車場へ避難しました。

御殿場市議会の議会改革



平成30年6月定例会において、「御殿場市議会改革特別委員会」の設置が可決されました。
6月25日には明治大学教授を講師として招き、議会改革や政治倫理条例についての研修会を実施しました。



10月4日、御殿場市議会は明治大学自治体政策経営研究所とのパートナーシップ協定締結式を行いました。



御殿場市議会では、時代の要請に応え、様々な形で議会改革に取り組んでいます。前任期の平成25年3月からの2年間で、議会改革特別委員会を設置し、「議員懇談会のあり方」、「予算決算委員会の設置」、「全員協議会での質疑のあり方」、「一般質問のあり方」、「常任委員会の調査研究のあり方」、「委員会行政視察報告書や政務活動費収支報告書の公開」、「議会広報のあり方」等、様々な課題を議論し、改善・改革を進めました。

議による「政治倫理条例制定」や「高校生議会開催」、災害発生時に議会がその機能を失うことなく働くための「議会BCP策定」をめざし、新たに議会改革特別委員会を設置しました。前号で紹介した明治大学自治体政策経営研究所とのパートナーシップ協定を生かして、これらの課題に取り組んでまいります。

議会改革特別委員会 委員長 平松 忠司

平成30年 市議会全員協議会の報告

～全員協議会の件目から見る議会のうごき～
平成30年は4回開催し、20件を協議しました。

2/14
水

- ・図柄入りの富士山ナンバー導入に向けた取組みについて
- ・平成28年度決算連結財務書類の作成と公表について
- ・介護保険料の改定について
- ・御殿場市災害廃棄物処理計画について
- ・御殿場市公設浄化槽整備事業PFI導入可能性調査の結果について

4/18
水

- ・御殿場市消費者教育推進計画について
- ・第5次御殿場市障害者計画について
- ・御殿場市第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画について
- ・御殿場市第8次高齢者福祉計画・第7期介護保険計画について
- ・御殿場市温泉会館の現状分析と将来の方向性について

8/15
水

- ・御殿場市公共下水道審議会の答申に関する報告について
- ・市街化調整区域における立地基準の一部改正について

11/16
金

- ・平成30年度御殿場市財政計画について
- ・第四次御殿場市総合計画前期基本計画実施計画の策定について
- ・東京2020大会及びレガシー創出に向けた取組方針の策定について

全員協議会とは？

「市政及び議会の重要事項に関し、協議または調整を行うための場」として設置しています。
(御殿場市議会会議規則 第166条)

また、全員協議会は議場で開催され、傍聴可能となっています。多くの方の傍聴をお待ちしています。



福祉文教委員会

11月1日

静岡県富士宮市

「認知症への取り組みについて」

富士宮市は、「認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく笑顔で暮らせるまち」を目指し、地域で認知症の方の支援ができる体制の構築に平成17年から取り組んでいる。認知症の方への個別支援やその家族の視点を重視し、地域住民中心の活動による「地域包括ケアシステム」を構築した。人との出会いを大切に、当事者の思いを受け止め、理解者を増やし、地域でつながりを持ち、最善の策を考え実現してきたことで「認知症になっても大丈夫！」という体制を構築している。「地域包括支援システムは、地域住民主体で動かせるまちづくりである」という視点が大切であることを感じた。

「富士宮市立学校給食センター事業について」

市町合併に伴い、1センターでの集中供給化に取り組み、平成29年度から新学校給食センターでの供給を開始。見学コースや多目的ホール、会議研修室が設置されており、展示資料も豊富で小中学生や市民の食育のための施設として活用されている。様々な課題に対応すべく、設備的な面や管理方法に



ついてよく考えられた施設である。本市の学校給食センター整備に参考とすべき点が多くあり、有意義な視察研修となった。

福祉文教委員長 小林 恵美子

広報委員会

10月31日

東京都あきる野市議会

「議会広報誌リニューアルについて」

今後の議会だよりの編集に生かすため、第8回マニフェスト大賞優秀賞を受賞し、議会だよりのリニューアルに成功した、あきる野市議会を研修した。

取り組みの経緯は、市民30人に、全国から集めた広報誌の中から読みたい広報誌を選んでもらったところ、あきる野市を選んだ人は誰もいなかったことがきっかけであった。自発的に広報誌を変えたい議員3名と事務局員1名で立ち上げ、約1年4カ月かけ、リニューアルを達成した。また、表記便覧を作成し、一般質問通告書、議会だよりの作成・校正に使用したり、4年に1回広報誌の見直しをする等改善を続けている。

リニューアルの視点は、大きく4点あり、

- ①ターゲットを絞った特集を組み、各種団体等の活動紹介や要望事項等を表紙に連携し、記事にしていること。
- ②導線、ホワイトスペースを設け読み易さを追求していること。
- ③裏表紙に、小学生が夢を語るコーナーを設定していること。
- ④行政用語を通じる言葉に、読んで欲しい量と読める量の差を考慮していることである。

議会だよりのリニューアルは、覚悟と準備期間が必要であり、市民目線が必要であると感じた。表記便覧により用語校正の統一を図ると共に、100号への特集記事導入など実行できることから始め、研修成果を生かしたい。

広報委員長 神野 義孝



あきるの市議会だより『ギカイの時間』

※ホワイトスペース：原稿に入れることでレイアウト上の効果を狙った空白部分

総務委員会

実施日：平成30年12月7日(金)

場所：御殿場市役所 東館2階

テーマ：「人口の増えるまちづくり」

参加者数：60名

報告会は、市内全区長を対象に、今年度の総務委員会のテーマである「人口の増えるまちづくり」をテーマにかかげた。当委員会では、重点項目を①魅力発信の強化
②御殿場市のブランド力の強化と決定し、そのテーマのもとで、岩手県二戸市の「宝を生かしたまちづくり」「ブランド海外発信事業」を視察研修したこと、報告会の前半は視察について報告した。

後半は会場を移動して地区別に部屋割りをし、委員が座長となり、区長と直接対話する形式をとり、各地区に埋もれている魅力の発掘、発信方法などの意見交換を行った。大変活発な意見交換を地区ごとに行い、貴重なご意見をいただいた。意見を取りまとめ、今後の御殿場市のさらなる魅力発信、ブランド力の強



化の参考意見として、当局に総務委員会として申し入れを行いたい。

総務委員長 高橋 靖銘



経済環境委員会

実施日：平成30年11月10日(土)

場所：市民会館会議室

テーマ：「サイクルツーリズムによる御殿場の魅力発信」
～2020東京五輪開催に向けて～

参加者数：20名

当市は2020東京オリンピックパラリンピックの自転車ロードレースの開催都市として正式決定され、開催に向けて市民全体で機運を盛り上げている。当委員会でも、この千載一遇のチャンスを生かし、サイクルツーリズムによる地域の活性化について、自転車愛好者や観光協会、商工会、体育協会などに声をかけ議会報告会を開催した。

報告会では、委員会で視察した「しまなみ海道」の今治・尾道両市に関する基調報告の後、参加者によるワークショップ方式での活発な意見交換と討論が行われた。その中で、自転車愛好者からは当市の自転車走行環境のうち、特に拠点となる御殿場駅前整備について、①サイクルラックの設置やプロショップの誘致②休憩所サイクルステーションの設置を望む意見があった。

また、御殿場駅に乗り入れる鉄道会社に対しては、①自転車積載車両要請②JR高速バス会社への輪行要望③サイクルトレイン号・成田エクスプレスの増発要請があった。

一方、官民が連携して様々なイベントを実施することとして、①道路開通イベントの実施(R138バイパス、新東名高速道路)②市内での各種自転車レースの実施(クリテリウム、キャンプ富士、工業団地、マウンテンバイク、初心者レース等)様々なアイデアの提起があった。

サイクルリストの受け入れでは、観光協会、商工会に要請して各商業施設、商店にスタンドなどの設置をすることやSNS情報発信の充実が求められた。これらに基づいて当委員会を取りまとめた結果を市長宛に提言する。

経済環境委員長 菅沼 芳徳



市議会だよりには再生紙を使用しています。 印刷 / (株)御殿場印刷所